

## 進路達成のためのロードマップ【進路シラバス】

現在の自分の位置（実力）を知り、どの方向にどんなやり方で踏み出せばいいかを知ることは、とても重要なことです。闇雲に突っ走っても、目的の場所にたどり着けるとは限りません。

3年後の大学受験から逆算して、どの時期に、どのくらいの時間をかけて、何をすれば良いかを示しているのがこの「進路シラバス」です。このシラバスに沿って、目標を立てて実行し、当初の目標と結果を比較して、それを次の目標にフィードバックしていくことはとても有意義です。さらに、このシラバスは、各年次の進路に関する行事や予定されている定期考査、実力テスト模範試験と連動させて、それぞれの時期の特徴とやるべきことを具体的に示してあり、3年間の受験勉強のロードマップであり目標管理の指針としても活用できます。

### 【1年次】

重点目標

1. 高校での学習方法と週平均3[時間/日]の自学の習慣を確立する
2. 様々な分野に関心を持ち、将来の進路について考える
3. 進路希望に沿った情報を収集する（仕事内容、必要な資格、専門分野、学部・学科）
4. 定期考査、実力テスト、模範試験、各種講習を通じて実力アップを図る
5. 国語、数学、英語の基礎の定着
6. 進路情報、入試情報を知る

学期	月	行事	学習関係		進路関係		
			関連行事	目標・内容	関連行事	目標・内容	
前期	4月	入学式  個人面談	<b>高校生としての自覚 学習方法と学習習慣の確立（週平均3時間の自学。予習⇒授業⇒復習）</b>		<b>進路目標を定めるための情報収集</b>		
			実力テスト① (国語・数学・英語)	入学前課題の定着	進路ガイダンス 進路講演会①	進路学習の進め方 高校生になる	
			スタディサポート	現状を自己分析し、 学習・生活の改善	進路適性検査（R-CAP）	自己の適性を探る	
		5月	春季大会	<b>部活動と学習の両立 すきま時間の活用</b>			
	7月	北高祭  夏季休業	第1回考査	学習内容の定着 復習が学びを深める	進路希望調査①	学習習慣の振り返りと、卒業後の進路を考える	
			6月	高校総体	科目選択調査	文理選択について考える	年次PTA（保護者向け） 大学入試制度について、進学資金について
			第2回考査	学習内容の定着 復習が学びを深める	進研模試① (国語・数学・英語)	現状を分析、学習方法を見直し、復習により学力を深化させる	
			<b>学習内容の復習 弱点の克服 課題に計画的に取り組む</b>		<b>長期休業を利用した職業研究及び大学研究</b>		
			<b>※既習事項の定着100%を目指す</b>		<b>各大学のオープンキャンパスへ参加し、学部学科研究を進める</b>		
			8月		実力テスト② (国語・数学・英語)	学習内容の定着 復習が学びを深める	夏期講習
後期	9月		第3回考査	学習内容の定着 復習が学びを深める	全統模試① (国語・数学・英語)	現状を分析、学習方法を見直し、復習により学力を深化させる	
			<b>前期の振り返り（学習方法・習慣の見直し）</b>		進路希望調査②	学習習慣の振り返りと、卒業後の進路を考える	
			職業人と語る会 保護者対象講演会	仕事について具体的なイメージを持つ 入試について			
		10月	後期開始	<b>前期の反省をもとに後期の計画を立てる</b>			
	11月	三者面談	第4回考査	学習内容の定着 復習が学びを深める	進研模試② (国語・数学・英語)	現状を分析、学習方法を見直し、復習により学力を深化させる 高校入学時からの基礎定着を計る重要な模試	
				文理選択の決定		進路講演会③ 冬期講習	模試結果分析&今後の学習計画作成 基礎を定着させ応用力を養成する
			12月	冬季休業	<b>計画的な学習と基礎基本の定着 ※既習事項の定着100%を目指す</b>		進研模試③ (国語・数学・英語)
	3月	卒業式 修了式 離任式 年度末休業	第5回考査	<b>1年次の弱手分野を克服、得意分野を伸ばして2年次に向かう [3教科基礎の完成]</b>			
				<b>残り3ヶ月、特に3教科の基礎を徹底復習せよ。ここでの定着率は2年後の入試の合否を左右する</b>		<b>進路目標を意識した学習方法の確立、授業の取り組み方の充実（1年次の学習事項を確実に定着させ、弱点分野を克服する</b>	
			スタディサポート	1年次の基礎の定着度を測る 弱点分野を克服する	駿台模試（ハイレベル） 春期講習	難関講習の成果を測る 実力養成を図る	

### 【1年次】

高校3年間の進路選択において、1年次で特に重要なことは、「学習習慣の確立」「高校生活の充実」「進路選択を考えた文理選択」です。以下に具体的なポイントを示します。

#### (1) 学習習慣の確立

##### ① 高校生としての学習サイクルを身に付ける

中学校までと異なり、高校での勉強は格段にレベルが上がります。授業をきちんと理解して、実力をつけるには、予習→授業→復習のサイクルを確立することが不可欠です。入学時点で成績が良い人が、必ずしも北高を卒業する時成績が良いとは限りません。先生方のアドバイスを参考に、きちんと自学の習慣を身に付けた生徒が、北高で大きく学力を伸ばせる生徒です。中学校の時、家庭学習の習慣がなかった生徒は、特に意識して習慣づけをしましょう。

1年生の授業内容が基礎であり重要です。授業内容の定着率が受験を左右します。日々の授業内容を理解し、できるようにしてください。疑問や不明な点は、質問などし、その日のうちに解決するようにしてください。

##### ② 自学時間の目標は3時間

通学に時間がかかったり、部活動で忙しい人も、時間の使い方を工夫したり、休日等を活用して、1日平均3時間の自学時間を目標にしましょう。卒業時に進路目標を達成している先輩たちは、実行していた生徒達です。

##### ③ 定期考査対策は1～2週間前から

高校では試験範囲が広く、一夜漬けの勉強では対応できませんし、実力も付きません。定期考査を1つの節目として、しっかり復習しできるようにして臨むことが大切です。定期考査対策は、1～2週間前から計画的に取り組むようにしましょう。その延長線上に、実力テスト・模範試験があります。定期考査・実力テスト・模範試験の振り返りノートを作成しましょう。1年次からの学習の積み重ねが、3年次になって力を発揮します。

また、大学等へ進学する際は、1年次からの成績も、評価の対象になります。後で困らないよう、地道に取り組ましましょう。繰り返しになりますが、中学校とは違うことを意識しましょう。

#### (2) 高校生活を充実させること

勉強に加えて、高校時代にしかできないことに取り組ましましょう。部活動・生徒会活動・ボランティア活動・読書など、自分の成長の糧になることを見つけ、勉強と両立させましょう。その経験が、皆さんの将来にも、進路決定の際にもプラスになるはずです。

#### (3) 高校卒業後の進路を考え始め、文理選択をする

最初の進路決定として、文系・理系の選択があります。将来就きたい職業や進みたい大学の学部を考えて上で選択する必要があります。「カッコいい職業に就くために」「苦手科目から逃れるために」といった安易な選択をせずに、将来の職業や大学についてじっくり調べ、先生や周囲のアドバイスにも耳を傾け、文理選択をしましょう。